

がまこおり 議会 だより

9月市議会定例会

一般質問…ここが論点……………	2～ 7
議決された主な議案……………	8～ 12
平成 26 年度一般会計決算 259 億 1,234 万円	
委員会通信……………	13
委員会の行政視察報告	
議会日誌、12 月定例会予定 ……	14

NO. **88**
2015.11



みんなの願い、交通安全／交通安全ポスター優秀作品展



一般質問…ここが論点

9月市議会定例会中、3日、4日、7日の3日間で、市政全般について12人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、9月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページ (<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/gikai/>) の会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも12月上旬の予定です。

また、ユー 스트リームライブ中継と録画放映も実施していますので市議会ホームページからご覧ください。

■ 一般質問

日程	議員名	主な質問の項目
9月3日(木)	鈴木 貴 晶	ハウレンソウ (報告・連絡・相談) 寄附金及び寄贈
	大 向 正 義	子ども・子育て支援 居場所づくり 医師会との和解
	日恵野 佳 代	児童発達支援センター 介護保険 国民健康保険税
9月4日(金)	牧 野 泰 広	小中学校での水泳授業 チョコレート摂取による健康効果の実証研究
	尾 崎 広 道	法令の助言 ブロック塀撤去 防犯カメラ設置 財産区
	松 本 昌 成	地域包括ケアシステム 自転車マナー ロタウイルスワクチンの助成
	来 本 健 作	小中学校でのエアコン設置
	青 山 義 明	喫煙対策 国道247号中央バイパス
9月7日(月)	稲 吉 郭 哲	シルバー人材センター ごみ屋敷 春日浦分譲地 国道247号中央バイパス
	鎌 田 篤 司	漁業振興策 竹島水族館
	鈴 木 基 夫	ソフィア看護専門学校
	柴 田 安 彦	大学艇庫移設と市営共同艇庫建設 住民投票条例の制定

※[下線付の項目](#)は次ページより質問と答弁の要旨を掲載しています。

鈴木貴晶 (自由クラブ)

ふるさと蒲郡応援寄附金の特典について

問 ふるさと蒲郡応援寄附金の返礼品のうち、冬の特典として、ミカンの木のオーナーになってもらうことについて、市はどのように考えているのか。

答 ミカンの木のオーナーになることは、木の選定や収穫で蒲郡に来てもらい愛着を持っていただく、よい事業だと思う。ただ、民間の団体が行う事業などで、金額の設定や時期など問題点があり、財務課との協議が必要と考えている。



現在のふるさと蒲郡応援寄附金返礼品

クラウドファンディングの活用について

クラウドファンディングの活用について

問 インターネットを活用して、不特定多数の支援者から、事業の活動資金を調達するクラウドファンディングについて、市の考えや取り組みについて伺う。

答 政府においては、この手法を地方創生にいかす動きもあり、適切に対応しなければならぬ状況にきていると感じている。先進事例やメリット、デメリットを研究したいと考えている。

問 東山動物園では、コアラのえさ代の支援を呼びかけたコアラ応援プロジェクトが成功した。竹島水族館でもアシカの購入資金を募り、出資者に水族館のフリーパス券やアシカショーへの招待など特典を付けた資金調達ができないか。

答 先日、竹島水族館ではアシカのアイちゃんが亡くなり献花台が設置された。動物の購入について、指定管理者に相談したいと思っている。

大向正義 (無会派)

3歳児から5歳児の保育料等の無料化を

問 人口減少対策として、蒲郡市も保育料などの無料化を実施できないか。

答 市が実施した場合、保育園、幼稚園合わせて約3億3千万円の財源が必要で、実施は厳しいと思う。

問 競艇事業からの繰入金による子育て教育支援基金を創設し、無料化や減額に利用できないか。

答 無料化の財源を競艇事業に求めると、繰り出す他の事業運営に及ぼす影響が大きく難しいと思う。



問 行政改革による節減、保育園の民営化、競艇事業の売上げ向上で財源を生み出し、保育料などを毎年10%削減、10年で無料化することが一つの大きな施策となるのではないか。

答 今のところ厳しい財政状況の中であり、まずは堅実な行財政運営を考えたいかと思っている。

高齢者のための居場所づくりについて

問 高齢者の閉じこもり防止や認知症予防のための居場所づくりが必要である。これを全市的に行うために、協議会的なものをつくってはどうか。

答 協働のまちづくり事業のモデル事業として、居場所づくりが候補に挙がっているが、この動向を注視しながら、可能性を検討したい。

問 居場所づくり事業の予算化はどうか。

答 現時点では、具体的な動きはなく、モデル事業の動向を見ながら市ができる支援策を検討したい。

日恵野佳代 (無会派・日本共産党)

児童発達支援センターの早期設置を

問 児童発達支援センターは、発達の気がある子どもが、小さいうちに専門職員の適切な対応やトレーニングを受けることで、発達に大きな助けとなる施設である。市は、この施設の必要性をどう認識し、障害福祉計画と子ども・子育て支援事業計画に書き込んだのか伺う。

答 本市でも、障害まではいかないけれども発達



が気がかりな子が年々ふえているので、第4期障害福祉計画や子ども・子育て支援事業計画に平成31年度までに児童発達支援センターを設置するという計画を盛り込んだ。

低所得者に市独自の救済策を

問 低所得の方が、特別養護老人ホームなど施設に入所した場合、食費や部屋代が軽減されたが、8月の改定により、世帯分離していても配偶者が課税されていけば、負担軽減されず、試算で年間77万400円の負担増となる。ここから家賃を払うと生活保護の基準



より少ない生活費で暮らさなければならぬ。市内での対象者の人数と市独自の救済策を求める。

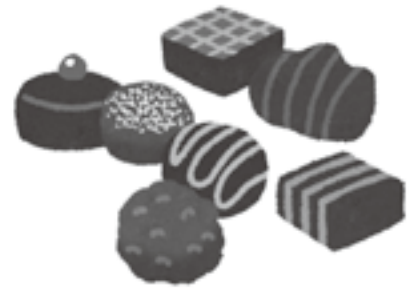
答 8月以降の補足給付の申し出を確認したところ、399名から申請があったが、うち25名は対象から外れた。なかでも世帯分離をして課税対象となった16名は、相当な負担増となるので、配偶者の所得状況など、実態を調査して対応が必要であれば考えたい。

牧野泰広（自由クラブ）

健康効果に関する実証研究について

問 チョコレート摂取による実証研究によって、どのような成果が得られたのか。

答 今回の研究結果としては、3つの発見があった。1つ目は血圧の低下、2つ目は善玉コレステロールの増加、3つ目はBDNFという脳内たんぱく質の増加である。このBDNFの増加により認知症やうつ病の予防につながるのでは、



と期待されている。また、ヘルスケアの町として全国にPRすることができた。

問 研究の今後の方向性はどのようなか。

答 今後も企業や大学と情報交換や情報収集を行い、具体的な企業ニーズがあり市民の協力が得られる環境を整えば実施の可能性を検討していきたい。

問 ヘルスケア計画に基づく企業連携・企業誘致の今後について伺う。

答 再生医療産業化推進委員会を立ち上げ、8月に蒲郡市再生医療産業化サミットを市内で開催し、企業や研究者が産業化や実用化に関する意見を議論した。

このような、特色ある事業実績等を重ねることで産学官連携によるヘルスケアのまちづくりを推進する地域のブランドイメージが形成される。

現在、ヘルスケア基本計画策定協議会で誘致企業の方向性について調査・検討を進めており、今後、市内外のヘルスケア分野の企業と共同研究や連携事業の可能性を、市民病院とも連携・協力しながら模索していきたい。

尾崎広道（自由クラブ）

防犯カメラの設置について

問 西浦シーサイドロードに監視カメラを設置できないか。

答 広範囲に及ぶ場所であり難しいと思われるが、監視カメラは不法投棄抑制効果が非常にあるため、設置可能な場所があれば一度検討したい。

問 防犯カメラを設置した場合の維持管理料はどのくらいか。



西浦シーサイドロード

答 電気代が年間約1万円、メンテナンスに係る費用が1回1万円程度、動産保険に加入すれば年間1万5千円程度必要となる。

西浦町財産区について

問 西浦町財産区から一般会計へ繰出金を支出し、一般会計から西浦町財産区に補助金を出しているが、地元が例年と違う補助金を希望した場合、同財産区管理委員会の同意等を必要とするか。

答 西浦町財産区管理委員会の同意は必要であり、新規要望等の必要性と蒲郡市との一体性という観点から総合的に判断した上で、予算案を議会に提出する。

問 西浦町財産区には補助金支出基準がなく、多様な地元要望に対し予算がつきにくいなどの問題が生じてきており、最近補助金支出基準を制定したと聞くがその内容は何か。

答 平成27年3月27日に、補助金支出基準を明文化し、補助金額の変更方法、臨時での補助事業の決定方法、補助率を明示した基準を制定した。

松本昌成 (公明党)

地域包括ケアシステムの構築について

問 定期巡回・随時対応サービスへの普及の考えは。

答 第6期介護保険事業計画に反映し、平成29年4月に事業所を1カ所開設したい。

問 施設入所待機者解消のため施設サービスの拡

充について伺う。

答 県の計画に広域型特別養護老人ホームを1カ所、市の計画に地域密着型特別養護老人ホーム1カ所を反映する。

道路交通法改正に伴う自転車マナー等の向上

問 自転車事故の件数はどう推移し、またどの地区で多く発生しているか。

答 件数は平成23年の76件から平成26年の71件までほぼ横ばいの状況であり、町部と塩津で多発している。条例化を含めた今後の取り組みはどのようなか。



答 今後も自転車安全利用五則を遵守した、指導・啓発を行い、他市の条例などについても調査・研究を行う。

ロタウイルスワクチンの助成について

問 ロタウイルスとその予防ワクチンの認識は。

答 ロタウイルス胃腸炎は、感染症胃腸炎の一種で、唯一の治療法が対症療法であり、ワクチンによる防御が重要である。

問 ワクチン接種の公費助成実施について伺う。

答 国や他市の状況、他の予防接種との兼ね合いを勘案し、検討課題とする。

来本健作 (無党派)

小中学校におけるエアコン設置について

問 全国及び県内のエアコン設置状況は。

答 平成26年4月1日現在の設置教室・特別教室での設置数及び設置率は、全国で82万1693室のうち



市内中学校の授業風景

うことである。デメリットは、設置費用が多額になること、恒常的に維持管理費が発生することである。

問 お隣の豊川市ではできるだけ早い期間に全ての普通教室に設置の予定で進む中、本市の考え方は。

答 設置対象が約280教室あり、他市の実績等から1教室あたりの設置費用は約250万円から300万円かかり、総額で7億円から8億円を超える費用が必要と考えられ、維持管理費もあるため、直ちに設置するのは難しい。しかし、エアコンが必要な設備であると十分に認識、理解しているため、気候の状況の変化にも注意しながら、設置について考えていきたい。

青山義明 (自由クラブ)

蒲郡市における喫煙対策について

問 蒲郡駅及び三河塩津駅周辺でのたばこのポイ捨て状況について伺う。

答 蒲郡駅前広場の一角や競艇開催時の三河塩津

駅前広場のトイレ周辺で、一部ポイ捨てが見受けられる。清掃委託業務の中で吸殻についても対応しており、また、啓発看板を設置して喫煙マナーの協力をお願いしている。

問 駅前広場に喫煙所を設けることはできないか。

答 駅前広場は多くの方が利用する施設であり、他の利用者への影響を及ぼさない設置場所の確保が難しい。また、管理者が常駐しておらず吸殻の片付け等の管理上の問題から、喫煙所の設置や寄附受け取りは難しいと考えている。

国道247号中央バイパスについて

問 王子中村線との交差点は歩道橋設置ではなく横断歩道にしてはどうかという意見について、どう考えるか。

答 施工者の愛知県と県警が協議し、横断歩道では距離が長く、老人や子ども等では信号制御時間内での横断が困難であるため、安全確保の観点から歩道橋



王子中村線との交差点付近の様子

設置が決定されている。**問** 全線開通はいつごろになるのか。

答 昨年度末までの残事業費は約17億円、今年度の予算は約4億円であるが、今後も予算を確保し、早期全線開通を図りたいと県は考えている。市も県と協力して早期全線開通を図る。

稲吉郭哲（自由クラブ）

市とシルバー人材センターの関係について

問 本市のシルバー人材センターへの補助金の内

容と実績は。

答 人件費、管理運営費、その他市長が必要と認める費用を補助対象経費とし、その2分の1を基準として補助金を交付するが、近年は1050万円の交付にとどまっている。

問 今後の課題とその対応について伺う。

答 市からはシルバー人材センターに会員への接遇研修実施をお願いし、市民への利用案内、会員拡大のPRを定期的を実施する。また、料金体制のあり方についても意見の申し入れを考えている。

ごみ屋敷対策は

問 これまでの取り組みと現状は。

答 土地所有者と接触している4件は直接指導及び指導文書を送付した。うち2件で道路上に堆積物はみ出していたが、5月25日までに所有者が片付けを終えた。残りの1件は土地所有者が死亡しており、相続人及び共有名義人に対し



て注意文書を送付した。

問 条例制定に向けての調査・研究の状況は。

答 原因者を周囲の住民と円滑な社会生活が送れる状況に戻すことが最終的な解決であり、支援によって自身の常習性を改善させることを視野に入れた条例が有効であると考える。また、公費投入への批判もあるので、公平性の確保もできるような研究を進めている。

鎌田篤司（自由クラブ）

蒲郡市の漁業振興策は

問 昨年度の主要施策として行った新規漁業就業支援事業の現在と今後は。

答 全国から27名応募があり、3名を決定し研修を開始した。2名リタイアしたが、1名が継続している。今後は新卒者の応募にもあわせ研修開始を4月頃に変更等の工夫をしたい。

問 アカエイ等の未利用魚の利用の考えは。

答 三谷水産高校で研究されていると聞いている。有効利用の研究等に対する支援制度を検討したい。

問 これからの漁業振興をどう考えているのか。

答 本市は、「三河湾に輝く人と自然が共生するまち蒲郡」を目指して、その実現に漁業振興は欠くことができないと考えている。

観光・教育の目玉の施設、竹島水族館について

問 水族館は現在地で、約50年が経つが今後の耐震やリニューアルの考えは。
答 耐震工事と一緒に館内の改装工事も考えたい。また、竹島パルクの土地は



竹島水族館

市で、建物は民間所有のため、官民一体となり地域の賑わいを検討したい。

問 以前、三河港ポートルネッサンス21計画を策定したと思うが、蒲郡駅から竹島までの導線で、蒲郡の観光をどう考えるのか。

答 現在、計画は中断しているが、竹島地区周辺は、海のまち蒲郡として重要な観光スポットである。施設間の連携を図り、観光地としての発展を進める必要があると考える。

鈴木基夫 (自由クラブ)

ソフィア看護専門学校と市民病院の連携を

問 平成27年度のソフィア看護専門学校卒業予定者のうち、市民病院での採用の見込みは。

答 年度末の卒業予定者数は29名であり、そのうち約79%にあたる23名が現在、市民病院の採用試験を受けている。

問 ソフィア看護専門学校から市民病院に採用となった生徒の、これまでの実績はどうか。

答 7対1看護体制を運用する平成19年度以前は、年間8名程度の採用であったが、その後は毎年20名前後の採用者をソフィア看護専門学校から確保している。特に最近の3年間では、採用者が卒業生全体の約7割から8割を超える割合となり、学校の存在が看護師確保に大きな役割を果たしている。

問 ソフィア看護専門学校と市民病院の今後の連



ソフィア看護専門学校

携について伺う。

答 ソフィア看護専門学校は、地域社会に暮らす人々の健康と福祉に貢献できる看護師を育成することが基本理念である。これに基づき、本市の地域医療の中核病院である市民病院からの看護師募集に配慮されるよう積極的に取り組むとともに、一人でも多くの学生が採用となるよう就職指導を行っており、学校と病院が互いに連携しながら、看護師の育成に努めている。今後も市民病院と連携しながら、引き続き地域社会に貢献する看護師を育成するということ、ソフィア看護専門学校との連携を認識し、果たしていきたい。

柴田安彦 (無党派)

海陽町地内の大学艇庫移設について

問 大学艇庫の移設の費用負担は、土地を最終的に購入するラグーナテンボスがすべきだったと思うが、なぜ市が仲介や交渉の協力だけではなく、費用負担まですることになったのか。

答 基本合意書の中で「蒲郡市の費用で艇庫を平成27年9月までに撤去し、譲渡する」という条項を結んでいる。ラグーナ地区のさらなる発展のため、事業経験豊富なエイチ・アイ・エスを招聘し、艇庫移設も市で行うこととした。

問 移設をしなければ30年間で5599万円の賃料収入がある。一方、移設をした場合、30年間で約2億円の賃料収入となるが、建設費約3億円、解体費約2千万円、移転補償費約2億円の合計5億2千万円の支出となる。移設すると移設しない場合に比べて約3億7千万円の負担増となる。



移設前の旧大学艇庫

新聞各紙が移転補償費5千万円と報じているのは、誤りではないか。

答 今回の支出は、愛知県やトヨタ等とも協議の末、ラグーナテンボスを市の観光資源、働く場として残すため決断したものである。移転補償費は、約2億円を支出したうち1億5千万円が艇庫の賃借料に上乗せする形だが、返還されるという考え方である。

問 今後、企業との交渉にあたっては、情報を流さないことを条件とした秘密会を開いて事前に議者と相談する考えはないか。

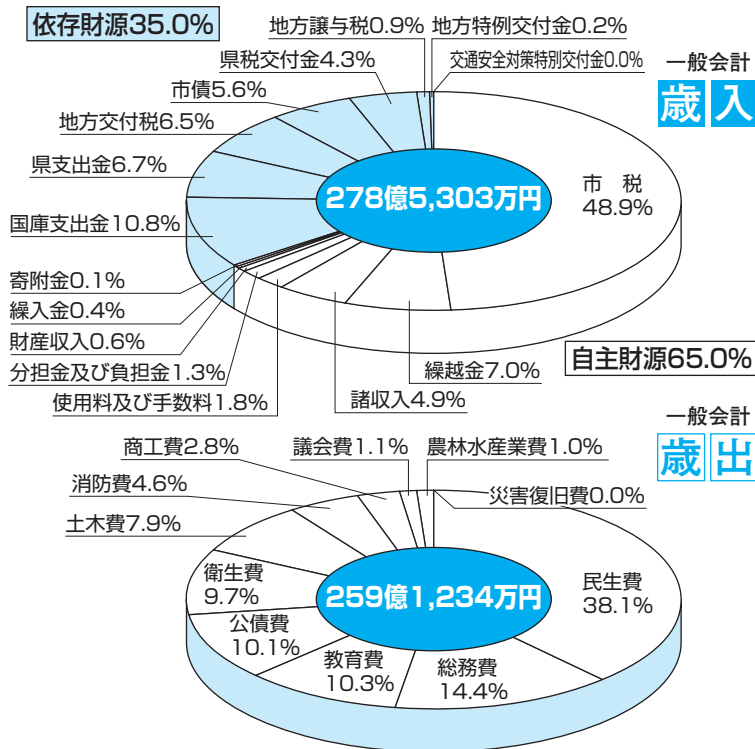
答 企業の経営戦略等の情報が漏れる場合もある。慎重な対応をしていきたい。

平成26年度一般会計決算 などを議決



9月市議会定例会は、9月3日から24日までの22日間の会期で開き、議案33件を審議しました。

平成26年度決算の認定など、その主な内容をお知らせします。



平成26年度 決算		歳入	歳出
一般会計	278億5,303万円	259億1,234万円	
特別会計	199億2,880万円	191億1,558万円	
企業会計			
水道事業	収益的 18億9,857万円	16億8,821万円	
	資本的 1億8,000万円	10億6,290万円	
病院事業	収益的 69億1,905万円	89億372万円	
	資本的 4億5,110万円	8億4,975万円	
三谷町財産区	収益的 755億8,837万円	735億6,037万円	
西浦町財産区	資本的 27億6,132万円	44億9,458万円	

※企業会計は、消費税を含んだ金額。

歳出前年度比 103・4%
一般会計の歳出は、前年度比103・4%で、歳入は同103・1%でした。

●一般会計決算
平成26年度一般会計決算など12会計決算は、16人の委員からなる決算審査特別委員会（委員長牧野泰広、副委員長青山義明）を9月3日に設置し、14日から17日までの4日間にわたり審査しました。
委員会では、次のような質疑がありました。

決算審査 特別委員会から

問 職員提案された数と内容はどのようなものか。
答 提案数は平成25年度39件、平成26年度からは提案募集を年2回行い93件に増えた。そのうち、採用件数は平成25年度4件、平成26

●総務費
一般会計の歳入から歳出を引いた額は、19億4069万円ですが、この中には翌年度に繰り越すべき財源の1億5127万円が含まれています。
これを除いた実質収支額は17億8942万円の黒字です。

■歳出
一般会計の歳入から歳出を引いた額は、19億4069万円ですが、この中には翌年度に繰り越すべき財源の1億5127万円が含まれています。
これを除いた実質収支額は17億8942万円の黒字です。

特別会計決算(各会計別内訳)

	歳入	歳出	差引
国民健康保険	83億8,062万円	82億6,117万円	1億1,945万円
介護保険事業	54億5,879万円	53億1,267万円	1億4,612万円
後期高齢者医療事業	16億7,035万円	16億4,146万円	2,889万円
土地区画整理事業	18億5,244万円	17億1,599万円	1億3,645万円
公共用地対策事業	2億8,287万円	8,108万円	2億179万円
下水道事業	21億3,480万円	19億8,430万円	1億5,050万円
三谷町財産区	1億3,494万円	1億930万円	2,564万円
西浦町財産区	1,399万円	961万円	438万円

※決算認定…議会が一会計年度の歳入歳出予算の執行実績である決算について、内容を審査した上で確認し、認定することであり、議決事項の1つです。

■ 9月定例会の日程

3日	本会議〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、質疑、討論、採決、一般質問など〕 決算審査特別委員会
4日	本会議〔一般質問〕
7日	本会議〔一般質問〕
8日	総務委員会
9日	経済委員会
10日	文教委員会
14日	決算審査特別委員会 議会運営委員会
15日	決算審査特別委員会
16日	決算審査特別委員会
17日	決算審査特別委員会
24日	本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決、選挙管理委員及び補充員の選挙など〕

年度15件と採用件数も増えている。採用された提案内容には、蒲郡市をPRするオリジナルの郵便料金後納スタンプを作成する、焼却処分としていた庁内の廃棄文書を融解処理して資源化する、コンビニエンスストアへAEDを設置する等があった。

問 提案及び採用に対する褒章はどうなっているか。

答 1件提出すると500円、2件を上限とするため1千円が限度額で、採用される最高A賞5万円、C賞が1件1万円、アイデア賞

が3千円となっている。

● 民生費

養護老人ホーム管理運営事業

問 入所者、職員、経費等

平成26年度の実績について。

答 平成26年度末の入所者数は男7名、女11名の計18名が入所、施設は指定管理者制度により不二福祉事業会に委託し、職員は施設長

1名、事務員1名、相談員1名、栄養士1名、看護師1名、支援員7名の計12名、指定管理料は7388万4千円で契約を行っている。

問 指定管理とは違う形で

民営化できないのか。

答 養護老人ホームは、介護保険における施設ではなく、居宅において生活することが困難な方を措置入所という形で受け入れるため、行政の介入が必要であるが、県内でも社会福祉法人が直営する施設もあるため、今後は違う方法も考えていきたい。

● 商工費

緊急雇用創出事業

問 事業の成果と事業の継続について伺う。

答 観光振興プロモーション事業は、4名を新規雇用し、SNSを活用し情報発信する企画を行った。体験講座等を実施し、観光振興に寄与できたと感じている。市の補助はなくなったが、受託企業で引き続き「蒲郡なび」というホームページで情報発信を行っている。

子ども読書活動推進事業は、10名を新規雇用し、一人が2、3校を掛け持ちし、小中学校の図書館に少なくとも週1日、6時間訪問し、本の補修やおすすめ本のコ

ーナーの作成等を行った。司書教諭は学級担任等を兼務し、図書館業務を専任する状況ではないので、この事業の効果は大きいと考えている。平成27年度は市単独事業として学校図書館運営支援業務を委託している。

● 土木費

市制60周年記念市民花いっぱい運動事業

問 事業の内容は。

答 9月から11月にかけて、蒲郡南駅前広場に3千株の花苗を組み合わせて60周年の「60」や「GAMAGORI」の文字、竹島等が描かれた、縦3m×横7・5mの花看板を設置した。

市民の皆さんが主体となり、種まき、植え替え、花飾りに取り組んでいただき、飾った後の水やり、花摘みといった維持管理まで行っていた。事業の成果は。

問 事業の成果は。

答 市の緑化事業に関わりなかった団体にも加わっていた。花看板が作成され、観光客や市民に安らぎを与えることができ、緑化意識の向上にもつながった。



蒲郡南駅前広場に設置された花看板

と考えている。
● 教育費

全国大会選手派遣報償費

問 全国大会等への出場に対する激励金支給の基準はどのようになっているか。

答 国際大会では、オリンピック、世界選手権、アジア大会など、国内では国民体育大会、日本選手権などへの出場を対象としている。平成25年度までは国内外の激励金の支給としていたが、26年度からは国際大会

への出場については2万円に増額した。

問 国内の大会への出場に対する激励金の増額についての考えは。

答 要綱で日本体育協会に加盟している協会等で全国的に組織されている団体が主催の場合に支給するとしているが、全日本学生選手権大会等この要件に該当しない大会もあることから、基準について議論が必要だと考えている。

●水道事業会計

収益的収支の状況は、1億7309万円の純利益を計上し、当年度未処分利益剰余金は会計制度の見直しにより31億3845万円となりました。

●病院事業会計

収益的収支の状況は、20億4131万円の純損失を計上し、当年度未処理欠損金は132億8804万円に増加しています。

●モーターボート競走事業会計

年間の売上額は700億7478万円で、前年度比13・5%の増、本場入場人員も45・1%の増となつて

●最近3か年のモーターボート競走事業会計からの繰出金

会計名	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
一般会計		0	0	0
特別会計	区画整理事業	3億円	2億1千万円	2億円
	下水道事業	5億4千万円	5億5千万円	6億円
企業会計	水道事業	0	0	0
	病院事業	12億6千万円	12億4千万円	12億円
合計		21億円	20億円	20億円

います。

条例の制定・改正

●マイナンバー法施行に伴う条例改正

(第58・59号議案)

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の施行に伴い、2つの条例を改正します。

個人情報保護条例については、マイナンバーの付番により特定個人情報として保護する必要となった個人情報情報の範囲の調整、特定個

人情報利用や提供の制限を新設、自己情報の閲覧等の請求者に任意の代理人を追加する等の改正を行います。市税条例については、市民税、固定資産税、軽自動車税、特別土地保有税、入湯税の各税目における申請書等の記載事項に個人番号又は法人番号等を明記するよう規定します。

●本会議での主な論点

賛成マイナンバーを活用し、電子化を進め、効率化を図ることが今後の地方行政に必要と考え、この制度そのものを推進すべきと考える。

2つの条例はこの制度の開始に伴う規定の整備が適切に行われている。

●反対マイナンバーを利用している国では、なりすましや詐欺等が多発し、対策がとれていない。制度自体を中止すべき。

反対行政や産業界のメリットが強調され、市民の理解が大きく準備も不足しているため、現時点で制度の導入を見送るべき。

●市民病院特定認定再生医療等委員会条例の制定

(第63号議案)

蒲郡市民病院に「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に定める特定認定再生医療等委員会を設置し、再生医療等提供計画の審査等業務を行うために条例を制定します。

●文教委員会での主な質疑

問 委員会を設置するメリットはなにか。

答 審査を通じた再生医療の知識の向上が図られること、再生医療を行っていくことで臨床の場で再生医療に関与でき、また知識を得ることができることになり、

意見書

①定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣
(○内の数字は、意見書案番号)

陳情

○歯周病健診対象年齢の拡大ならびに委託料に関する陳情

提出者 蒲郡市歯科医師会 会長 酒井基裕氏
審査結果 採択

○市内小学校及び保育園におけるフッ化物洗口事業の個人負担無料化の陳情

提出者 蒲郡市歯科医師会 会長 酒井基裕氏
審査結果 採択

○定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書

提出者 蒲郡市教員組合
執行委員長 彦坂 繁氏 はじめ372名
審査結果 採択

医師の確保に向けたメニューの1つとして期待しています。

問 将来、再生医療の治療に当たる上で医師の確保ができるのか。

答 必要な医師については、大学側に協力を要請しているところであり、前向きな返答をいただいています。

その他の議案

●教育委員会委員の任命

(第64号議案)

委員篠田恵氏の任期が平成27年9月30日に満了することに伴い、同氏を引き続き委員に任命することに同意しました。

●水道事業会計未処分利益剰余金の処分

(第69号議案)

水道事業会計未処分利益剰余金31億3844万8606円のうち、会計制度の見直しにより生じた現金の裏づけのない30億9963万4589円を資本金に組み入れ、現金の裏づけのある3881万4017円のうち3千万円を企業債返済

■9月定例会で議決された平成27年度補正予算

・一般会計

補正号数	補正の主な内容	補正額	補正後の予算額
第3号	大学艇庫移転補償費 1億9,996万円	1億9,996万円	275億814万円
第4号	東三河広域連合広域行政推進事業費負担金 63.7万円	6億3,109万円	281億3,923万円
	地域総合整備資金貸付金 3億円		
	防犯カメラ設置事業費補助金 170万円		
	人工内耳給付事業費 70万円 (地域生活支援事業費)		
	35万円 (児童福祉支援費)		
	西浦園地駐車場(マリーナ前)整備工事費 631万円		
市道拾石五反田5号線改良事業費 710万円			
	教育施設整備事業基金積立金 3億円		
	地方債の追加(起債の目的:ふるさと融資事業、限度額:3億円)		

・介護保険事業特別会計

補正号数	補正の主な内容	補正額	補正後の予算額
第1号	介護保険事業基金積立金 8,835万円	1億4,611万円	60億3,821万円
	国庫支出金等返還金 5,776万円		

・モーターボート競走事業会計

補正号数	補正の主な内容	補正額	補正後の予算額
第1号	収益的支出の補正 ミニボートピア栄発売事業費 1億1,833万円	1億1,833万円	846億5,513万円

●**本会議での主な論点**
賛成安定的に水道事業を行うため現金の裏づけのある未処分利益剰余金の大部分を減債積立金へ積み立てることは適切であり、現金の裏づけのない約31億円の資本金への組み入れも経営判断の余地を広げる観点から適切な処分である。

●**反対**水道代を払う市民に還元する、あるいは値上げを遅らせるため利益積立金に積み立てるべきである。

●**モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分**

(第70号議案)

モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金18億9900万8275円のうち10億円を減債積立金に積み立て、残余を繰り越します。

●**本会議での主な論点**

賛成施設整備のために借り入れた企業債の返済に充てる減債積立金に積み立てることは適切である。

●**反対**射幸心をあおって行う事業に反対である。

●**財産の減額貸付**

(第86号議案)

海陽ヨットハーバーで活動している6大学に対して、年額2001万6千円を113万3千円に減額し、市営共同艇庫を貸し付けます。

●**本会議での主な論点**

賛成公共補償の基準に基づいた適正かつ公平な移転補償が行われ、海のまちづくりの推進、さらなる賑わいの創出や地域発展への効果が

が期待され、意義は十分にある。

●**反対**約2億円の補償をしており、減額する理由がない。他の補償事例と比較しても不公平な扱いである。

●**反対**大学の同意を得る前に市営共同艇庫の建設に着手したことで、市は信頼を失い、見込みの甘さを露呈している。

●**市議会会議規則の一部改正**

(議員提出第3号議案)

近年の男女共同参画の状況に鑑み、地方議会においても男女共同参画を考慮した議会活動を促進するため、出産のために会議を欠席することに關する条項を追加します。

選挙管理委員等の選挙

選挙管理委員と同補充員の選挙が行われ、次の方が当選されました。

▼**選挙管理委員** 高橋和男氏、吉見信昌氏、倉橋璋宏氏、竹内規江氏。

▼**同補充員** 杉浦蒂氏、壁谷亮二氏、大須賀友彦氏、竹内英次氏。

■ 全会一致で可決・同意・認定した議案 (○内の数字は議案、意見書案番号)

⑤7 市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部改正 ⑥3 市民病院特定認定再生医療等委員会条例の制定 ⑥4 教育委員会委員の任命 ⑥5 「緑の分権改革」推進事業及びICTふるさと元気事業に係る事務の委託の廃止に関する協議 ⑥6 土地改良事業に伴う字の区域の変更 ⑥7 市道の路線認定、廃止及び変更

⑥8 工事請負契約の締結 (庁舎新館耐震改修工事)

⑦5 平成26年度土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定 ⑦6 平成26年度公共用地対策事業特別会計歳入歳出決算の認定 ⑦9 平成26年度西浦町財産区特別会計歳入歳出決算の認定 ⑧1 平成26年度病院事業会計決算の認定

⑧4 平成27年度介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)

議員提出議案③ 市議会会議規則の一部改正

意見書案① 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

■ 賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案名	蒲郡自由クラブ												公明党 蒲郡 市議団		無会派						
		大場 康議	伴 捷文	尾崎 広道	鈴木 基夫	広中 昇平	喚田 孝博	鎌田 篤司	竹内 滋泰	稲吉 郭哲	新実 祥悟	青山 義明	牧野 泰広	鈴木 貴品	伊藤 勝美	松本 昌成	大竹 利信	日恵野 佳代	来本 健作	大向 正義	柴田 安彦	
58	個人情報保護条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	市税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	個人番号カードの利用に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	平成26年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	平成26年度モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	平成26年度一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	平成26年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	平成26年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	平成26年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	平成26年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	平成26年度三谷町財産区特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	平成26年度水道事業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	平成26年度モーターボート競走事業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	平成27年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	平成27年度モーターボート競走事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	財産の減額貸付	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	平成27年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※新実祥悟議員は議長職により採決には参加しません。

委員会通信

9月8日に開かれた総務委員会において社会保障・税番号制度について及び名鉄西尾・蒲郡線の存続に向けた支援の方向性について報告がありました。

社会保障・税番号制度について

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づき、住民票を有する全ての方に対して付番されるマイナンバーを利用した制度が開始されます。

この制度は、社会保障、税、災害対策の分野で対象者の正確かつ迅速な特定、複数の機関との情報連携、添付書類の省略による行政手続の簡素化等を通じて、住民サービスの向上や行政運営の効率化を図ります。

今後の予定として平成27年10月から「通知カード」によるマイナンバーの通知、28年1月にマイナンバー利

用を開始し、また申請者へ「個人番号カード」の交付が始まります。29年1月には、国の行政機関での情報連携と「マイナポータル」という個人情報内容や、やりとりした記録を確認できるシステムの運用を開始します。29年7月には、地方公共団体を含めた情報連携をしていくという報告がありました。

名鉄西尾・蒲郡線の存続に向けた支援の方針について

名鉄西尾・蒲郡線の存続に向け西尾市との協議経過について報告がありました。

蒲郡市としては、できるだけ長期の運行の実現を考え、現行では3年間の支援期間を来期からは平成28年度から32年度までの5年間とする、両市で年額2億5千万円としている支援金を維持することを求めて交渉を進めているという説明がありました。

委員会の行政視察報告

先進自治体等の事例を学ぶため、7月に議会運営委員会及び常任委員会が行政視察を行いました。視察地及び視察項目をお知らせします。

●文教委員会 7月6日～8日

向日市／認知症初期対応カフェ事業
姫路市／小中一貫教育の展開
尾道市／尾道市民病院
(地域包括支援尾道方式)
古賀市／介護支援ボランティア制度



●議会運営委員会 7月15日～16日

名張市／反問権、議会報告会
福知山市／反問権、議会報告会、
委員会ネット公開



●経済委員会 7月27日～29日

北九州市／ポートレース若松
大野城市／おのじようまちなかわく
ハウステンボス株式会社
佐世保市／ハウステンボス再生支援交付金



●総務委員会 7月28日～30日

野田市／公契約条例
我孫子市／提案型公共サービス民営化
和光市／財政健全化条例
狛江市／災害時の避難所運営



議会日誌

7月4日から10月2日

7月

- 6日～ 8日 文教委員会行政視察
- 15日～ 16日 議会運営委員会行政視察
- 27日～ 29日 経済委員会行政視察
- 28日～ 30日 総務委員会行政視察
- 31日 国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会

8月

- 5日 議会運営委員会理事会
- 19日 全員協議会(海陽地区大学艇庫移設について)
- 20日 議会運営委員会理事会
- 24日 9月定例会招集告示 議案説明会
- 27日 議会運営委員会理事会 議会運営委員会

9月

- 3日～ 24日 9月定例会
- 14日 議会運営委員会
- 24日 議会だより編集委員会

10月

- 2日 議会だより編集委員会



傍聴席から見た本会議場

12月定例会の 開会日・日程は

12月市議会定例会は、12月2日(水)から開かれる予定です。

詳しい日程は、11月26日(木)に開催予定の議会運

営委員会でも決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。

本会議の傍聴を希望される方は、会議当日、市役所新館7階の議会事務局で手続きをしてください。

また、本会議の日程と一般質問の内容は、市役所のロビーや市議会ホームページでもお知らせします。

議会だよりは点字版、テープ版、CD版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、テープ版及びCD版は、ボランティアグループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

議会だよりをスマホへ 配信します!

QRコードを読み込むか「i広報誌」で検索



無料です!

また、議会だよりは、三河塩津駅を除く市内JR3駅、名鉄蒲郡駅のほか市民病院や市立図書館にも置いてあります。

なお、市議会ホームページやスマートフォンアプリ「i広報誌」でもご覧いただけます。

東三河広域連合議会

8月10日、11日に東三河広域連合議会8月定例会が豊橋市議会議事堂で行われました。今定例会では、平成27年度一般会計補正予算(第1号)、会議規則の一部改正、平成26年度一般会計歳入歳出決算について審議し、いずれも原案のとおり可決、認定されました。

り可決、認定されました。また、7人の議員が一般質問を行い、蒲郡市選出の松本昌成議員が滞納整理事務について、鈴木貴晶議員が広域連携事業について質問をしました。

東三河広域連合ホームページ(<http://www.east-mikawa.jp/>)では、広域連合議会インターネット録画中継を実施しておりますので、ぜひご覧ください。



今回の9月定例会では、33議案が上程され、慎重な審議を行い、すべて原案のとおり可決・同意・認定されました。そのうち決算認定議案は、16名の委員で構成する決算審査特別委員会において4日間を費やして慎重な審議を行い、すべて原案のとおり認定されました。また、一般質問では12人の議員が子育て支援や介護などの福祉の向上や安全・安心を守るために、それぞれのテーマを掲げて活発な質問や提案を致しました。

本会議、委員会については、ご希望があればどなたでも傍聴することができます。また、本会議の様子については、インターネットのユーストリームを利用した生中継や録画中継にてご覧いただけます。このように蒲郡市議会は市民に開かれた議会を目指し、議会改革に取り組んでいます。

これからも、「議会だより」を通じて、蒲郡市議会の取り組みや議論の様子を分かりやすくお伝えできるように、編集委員一同取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。